

4回目の運動会が開催されました



大日向 学校新聞

第十七号

発行元

学校法人茂来学園
大日向小中学校

校長だより (小学校校長 久保礼子)



○運動会が行われました

五月二八日(土)に、晴天の下、大日向小学校・大日向中学校運動会が行われました。小学一年生から、中学三年生まで、また保護者、職員も一緒になって行われる、大日向小中ならではの運動会でした。コロナ禍で、「地域の方と一緒に」は実現できませんでしたが、「誰でも好きな競技に参加して思

い切り楽しむ」という精神は、第一回目の会から脈々と受け継がれています。

今年の運動会の特徴は、競技内容をそれぞれのファミリーグループが企画運営したことです。下学年(一年生・三年生)三グループ、上学年(四年生・六年生)三グループ、中学生グループ、職員グループがそれぞれ準備し、合計八つの競技がブース形式で運動場、体育館を使って行われるというものでした。子どもたちは、自分たちのグループの競技が行われている時間にはそれぞれ担当があり、他のグループの競技時間には参加者となって、なかなか忙しいものでしたが、それぞれがいきいきと動き回っている姿はとて頼もしく輝いていました。全体の企画運営にあたっていた中学生の姿がお手本になっていたことは言うまでもありません。名物となった最終種目の「い





だてんりレー」には老若男女百八十人を超す走者が参加し、皆でバトンを繋ぎ、走ることを心から楽しんで閉幕となりました。

開催に向けてグラウンド整備のために芝養生ボランテイヤに駆けつけてくださった多くの保護者の方々、ぬかるんでしまった車の道の整備にご尽力くださった地域の皆さまにも深く感謝いたします。

○校外活動が活発になっています

新緑美しいこの時期、本校の学びの重要な要素である探求学習(ワールドオリエンテーション)のテーマは、やはり植物を育てたり、自然を観察したりすることにつながっていています。

校庭の畑やベランダのプランターでは、たくさんの野菜がとても元気に育っています。モンシロチョウの卵に夢中の子どもたちもいます。校外にお借りしている田んぼでも田植えが始まっているようです。

また、下学年では「蜂」をテーマ



に探求が始まっています。教室にオオスズメバチの巣がやってきたり、蜜蝋作りが行われたり、養蜂のお仕事をされている方に来ていただいたり、夏休みまできつと子どもたちの頭の中は蜂でいっぱいかもしれません。

上学年は、大日向地域の自然の案内動画の作成を校長から託されて張り切ってくれています。ダムや川やプーン畑へと、出かけて、

見て、感じて、問いをいっぱい持って、調べたり、記録したりする活動が増えてきます。

地域の皆さまも、もしそんな子どもたちを見かけたら気軽にお声かけください。

○桜の木の老朽化

春になると、本当に綺麗な花をたっぷり咲かせてくれ、多くの人を和ませてくれているグラウンドの桜の木ですが、先日、枯れてしまった枝が突然折れて落ちてくることがありました。さっそく、植木屋さんに見てもらったところ、多くの木がかなり老朽化して幹が空洞になっていたり、枝が枯れてしまったりしているそうです。自然の摂理で致し方のないことのようにです。危なそうなのは、徐々に切ってもらおうように植木屋さんにも願います。寂しい気もするのですが、一方この春には、地域の方のご好意で数十本の新しい桜の木の植栽もしていただいています。少しずつ変化しながら、でも長く続く学校の桜の景色となっています。